

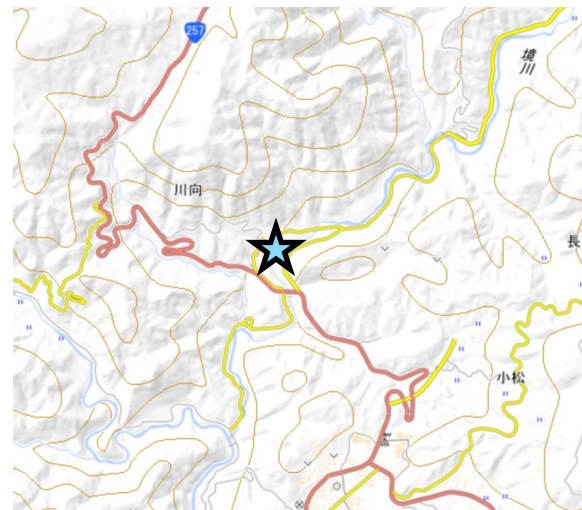
■「水の日」とは？

「水の日」および「水の週間」は、水の大切さや水資源開発の重要性に対する国民の関心を高め、理解を深めるため、昭和52年の閣議了解により政府が定めたものです。
年間を通じて水の使用量が多く、水についての関心が高まる時期である8月の初日を「水の日」（8月1日）とし、この日を初日とする一週間（8月1日～7日）を「水の週間」として、水に関する様々な啓発行事を毎年実施しています。

設楽ダム工事事務所における今年度の取組として、付替国道257号線新設楽大橋周辺のライトアップを行っています。
国道257号線設楽大橋を通りながらご覧ください。



新設楽大橋ライトアップの様子



ライトアップ場所